

# 令和7年度 第2回多治見市地域公共交通会議

## 議 事 要 旨

- ・開催日時：令和7年8月22日（金）15:00～16:10
- ・開催場所：多治見市役所 本庁舎 5階全員協議会室

### 《委員》

区分	所 属	氏 名	出 欠
会長	中部大学工学部教授	磯部 友彦	○
委員	(財)岐阜県バス協会専務理事	木村 治史	○
〃	東濃鉄道(株)事業企画部バス事業担当部長兼安全推進担当部長	永井 泰孝	○ (代理：水野)
〃	コミタクモビリティサービス(株)代表取締役社長	林戸 達美	○ (代理：安藤)
〃	東鉄アシスト(株)取締役	藤田 明博	○
〃	東濃鉄道労働組合中央執行委員長	稲垣 健児	○
〃	多治見市区長会	度会 正年	○
〃	多治見市悠光クラブ連合会会長	加藤 孝春	○
〃	市民代表	諸星 洋子	○
〃	市民代表	中嶋 英雄	○
〃	岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	大石 悟	○ (代理：下平)
〃	多治見砂防国道事務所道路管理課長	高柿 弘義	欠
〃	岐阜県都市建築部都市公園整備局公共交通課長	大脇 哲也	○ (代理：平川)
〃	岐阜県多治見土木事務所施設管理課長	牧村 潤一	○
〃	多治見警察署交通第一課長	平田 宏保	○ (代理：伊藤)
〃	多治見市役所市民福祉部長	金子 淳	○
副会長	多治見市役所都市計画部長	福田 康仁	○

### 《事務局》

- ・多治見市都市計画部都市政策課：小玉課長、内山課長代理、外川主事、増田主査

### 《事前配布資料》

- ・会議次第・委員名簿
- ・資料 1-1：ききょうバスへのデジタル回数券の導入について【協議事項】
- ・資料 1-2：R6年度高校生の移動実態に関するアンケート調査について【報告事項】
- ・資料 1-3：デジタル回数券購入の流れ
- ・資料 1-4：デジタル回数券の使い方
- ・資料 2：ききょうバス前山ルートへのルート及びダイヤ改正について【協議事項】
- ・資料 3-1：令和7年度自動運転（レベル2）実証実験の取組について【報告事項】
- ・資料 3-2：令和7年度「自動運転社会実装推進事業（国交省）」東濃地域の体制構築について【報告事項】
- ・資料 3-3：自動運転（レベル2）実証実験の取組概要（R7年度事業）【報告事項】

(敬称略)

## 1 開会

- ・ (会長挨拶)
- ・ (資料確認)
- ・ 欠席 1 名、代理出席 5 名で委員 16 名の出席により本会議は成立していることを報告。



## 2 議題

### (1) ききょうバスへのデジタル回数券の導入について【協議事項】

- ・ (資料 1-1 : ききょうバスへのデジタル回数券の導入について  
資料 1-2 : R 6 年度高校生の移動実態に関するアンケート調査について  
資料 1-3 : デジタル回数券購入の流れ、デジタル回数券の使い方 を事務局が説明)

#### 【決定事項】

##### ●議決

- ・ ききょうバスへのデジタル回数券の導入について承認された。

#### 【意見概要】

##### ●意見

- ・ 学生やスマホを日頃使用していない方の利用も考慮しながら検討を進めてほしい。
- ・ デマンドバスも合わせて検討を進めてほしい。

#### 【意見詳細】

##### ○下平委員

- ・ 支払方法としてWebの回数券が導入されたことで、多様な方法で支払いができることは良いと思う。しかし、現状 100 円、200 円の料金でききょうバスに乗れるにも関わらず、高校生に多く利用されていない実態がある。こちらについては、前山ルート of ルート改正による多治見高校及び多治見工業高校への輸送力増強と合わせて、学生の利用促進を図る認識で良いか。

##### →事務局

- ・ ききょうバスを利用している子供・学生は固定化されてきており、ききょうバスの存在は知っているものの、利用する機会がない人は多いと思っている。昨年度の高校生を対象としたアンケート調査は、地域に公共交通があること、それを利用していただくことの意識付けも含めて実施している。アンケート結果は生徒に報告しており、デジタル回数券の導入についても学校や生徒にお知らせする予定である。まずは、ききょうバスを 1 回利用して利便性を実感していただくことで、利用者を増やしていきたいと思っている。

##### →磯部会長

- ・ 高校生にアンケート調査結果を報告することは、調査を実施して終わるではなく、何らかのリアクションをするという意味合いもあると思う。

##### ○下平委員

- ・ 免許返納者の中には、スマホを使われない方も一定数いると思う。そうした方々への対応は考えているか。

##### →事務局

- ・ ききょうバスで実施できることから実施していこうと思ひ、まずはデジタル回数券を導入した。実施していく中で、紙媒体がないと利用できないといった意見をいただいたり、紙媒体の方が利用促進を図れる状況が見えたりする場合には、検討したいと思っている。

(次頁へつづく)

## 議事概要

### ○下平委員

- ・デジタル回数券の支払方法として、クレジットカードが記載されているが、高校生はクレジットカードを持っていないと思う。高校生の支払いは、保護者が決済を行うのか、高校生自身がお小遣いを使ってPayPayで決済を行うのか、どのような利用を想定しているか。

#### →事務局

- ・高校生の支払方法はPayPayを想定しているが、保護者のクレジットカードと紐づけして、購入される家庭もあると思う。家庭ごとに使いやすい形で、多くの方が公共交通を利用していただけたらと思っている。

### ○加藤委員

- ・デジタル回数券の導入により、紙の回数券は利用できなくなるのか。また、デジタル回数券を持っていないとききょうバスが利用できなくなるのか。

#### →事務局

- ・現在の支払方法に追加する形で、デジタル回数券による利用が可能になる。そのため、現金や現在発行されている紙の回数券についても、今まで通り利用していただくことができる。

#### →加藤委員

- ・免許返納者割引は、デジタル回数券を利用しないと割引されないのか。

#### →事務局

- ・免許返納者割引は現在も行っており、現金による支払い時に半額の割引が受けられる。そこにデジタル回数券を利用していただくと、現在の半額割引に加えて回数券分お得になる仕組みである。追加の回数券分の割引は、デジタル回数券のみ利用できる。

### ○安藤委員

- ・デジタル回数券を導入することで、少しでも市民の方に便利に公共交通を利用していただくことについては賛成である。コミタクモビリティサービス(株)ではデマンドバスを運行しているが、昨年度バスチケット 65 が配付された際に、ききょうバスが運行していない地域の住民から、配布はありがたいものの利用できる路線がないといった意見があった。地域内格差はどうしても生じてしまうため、弊社のデマンドバスも同じ土俵の上で検討いただくと良いと思う。デマンドバスでは、免許返納者に対して自宅前まで送迎するなどの対応も行っているため、高齢者も免許返納を決意しやすいと思う。QUICK RIDEについても、弊社も昨年度から導入しているため、同様のシステムで対応することが可能である。

- ・学生アンケート調査について、市内4校の高校生を対象としているが、弊社が運行するここけいバスを利用して、古虎溪駅から名古屋方面に通学される学生もいる。今回のアンケートでは対象外となっているが、同じ市内に住む学生であるため、アンケートの対象についてご検討いただきたい。

#### →事務局

- ・今回の事業は、市が運行するききょうバスを先行して導入したが、次の課題は市内の民間事業者と連携して、どのような利用促進を行っていくのかであると考えている。こちらについてはご意見いただいた通りのため、東濃鉄道(株)やコミタクモビリティサービス(株)とご相談しながら、可能なサービスのあり方を研究していきたいと思っている。

### ○磯部会長

- ・高校生のアンケート結果を見ると、自家用車の割合が高くなっている。デジタル回数券の導入により自家用車の利用が減れば、社会的にも良い傾向だと思う。家庭内の事情によっては自家用車送迎によるメリットもあると思うが、駅や学校周辺が渋滞してしまうデメリットもある。可能であれば、学生のアンケート調査は今後も継続的に行っていただきたい。

#### →事務局

- ・学生割引は1年半の試行導入であり、継続するか否かを判断するために同様のアンケート調査を行う予定である。アンケート結果や学生の反応等も見ながら決定していきたいと考えている。

(次頁へつづく)

○磯部会長

- ・QUICK RIDEを運営するレシップ(株)は、岐阜県に本社を置く地場企業である。元々は運賃の精算機やバス車内の機械を製造していたが、近年はこうしたデジタルに関する事業も始めている。写真等の個人情報を取り扱うことから、信頼性の高い企業でなければならないが、地場企業であるレシップ(株)であれば安心して利用できると思う。セキュリティ問題について、レシップ(株)と協議しているか。

→事務局

- ・レシップ(株)は本巣市に本社を置く企業であり、今回のデジタル回数券導入については、レシップ(株)からご提案を受けた。県内事業者で広く導入されている実績があり、東濃鉄道(株)やコミタクモビリティサービス(株)でも同様に導入されているため、本市もそれに続く形でQUICK RIDEを利用する運びとなった。

○磯部会長

- ・ききょうバスへのデジタル回数券の導入について、提案通りに進めていくことで委員の皆様のご承認をいただければと思うがいかがか。

→委員一同

- ・承認する。

(2) ききょうバス前山ルート of ルート及びダイヤ改正について【協議事項】

- ・(資料2：ききょうバス前山ルート of ルート及びダイヤ改正について を事務局が説明)

【決定事項】

●議決

- ・ききょうバス前山ルート of ルート及びダイヤ改正について承認された。

【意見概要】

●意見

- ・運転手の休憩時間や労働時間も踏まえて検討を進めてほしい。

【意見詳細】

○磯部会長

- ・前山ルート of ルート改正により、路線が長くなると思うが、運転手の休憩時間や労働時間等について問題ないか。

→事務局

- ・東濃鉄道(株)と相談をした上で提案しているため、確認済みである。

○磯部会長

- ・前山ルート of ルート及びダイヤ改正は、臨時で一定期間のみ変更するものか、それとも以降も継続的に行うものか。

→事務局

- ・学生割引用デジタル回数券は1年半の試行導入であるため、導入後の利用状況について調査を行う予定である。その調査結果をもとに、今後のルートやダイヤについて検討する。

○磯部会長

- ・ききょうバス前山ルート of ルート及びダイヤ改正について、提案通りに進めていくことで委員の皆様のご承認をいただければと思うがいかがか。

→委員一同

- ・承認する。

(3) 令和7年度自動運転（レベル2）実証実験の取組について【報告事項】

- ・（資料 3-1：令和7年度自動運転（レベル2）実証実験の取組について、資料 3-2：令和7年度「自動運転社会実装推進事業（国交省）」東濃地域の体制構築について、資料 3-3：自動運転（レベル2）実証実験の取組概要（R7年度事業）を事務局が説明）

【意見概要】

●意見

- ・地域住民の意見も考慮しながら検討を進めてほしい。

【意見詳細】

○磯部会長

- ・将来ステップの遠隔監視体制として「1:1」「1:1～2」と記載されているが、これは何を意味するのか。

→事務局

- ・自動運転レベル4では、車内にオペレータがいなくても運行できるようになるが、遠隔監視が必要となる。令和9年度からはレベル4の運行を想定しており、遠隔監視体制として1人の監視員が多治見市の実証実験車両を監視する。監視員1人につき1台の車両を監視することが「1:1」を表している。「1:2」は、1人の監視員が東濃地区の別地域と合わせた2台の車両を監視する意味である。

○磯部会長

- ・今年度の実証実験は、11/19（水）～12/7（日）の18日間を予定しているが、来年度以降はどのような期間で行うのか。

→事務局

- ・市としては来年度も同様の期間で調査をしたいと考えている。

→磯部会長

- ・岐阜市では、自動運転による実証実験を長期間行っているが、そうした形ではないことを理解した。

○磯部会長

- ・自動運転車両がまちなかを運行する上で、地域の方々から協力を得る必要があると思うが、地域住民への確認はされているか。

→事務局

- ・昨年度の取組として、地域の方々にアンケート調査を行い、自動運転に関する不安点等をお聞きした。今年度の実証実験では、アンケート調査にご協力いただいた方には是非乗車していただき、自動運転を体感していただいた上で社会受容性を高めていきたいと考えている。

3 自由討論

○藤田委員

- ・東鉄アシスト(株)は、市の委託を受け、ききょうバスオリベ観光ルートを運行させていただいている。令和6年9月にオリベ観光ルートにおいて、車椅子のお客様の乗車をお断りしてしまう事案が発生した。そのお客様は、1時間後の便で無事目的地に到着されたが、本来利用したかった便で乗車ができないこととなった。これを受け、オリベ観光ルートは30日間の車両利用停止処分中である。現在は予備車を利用しており、運行自体には支障はないが、お客様や皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げる。今後については、乗務員の再教育に加え、設備の取り扱い等も含め、再発防止に努めていく所存である。

(次頁へつづく)

## 議事概要

### ○事務局

- 本日の会議記録については、作成でき次第各委員へ送付させていただくため、確認をお願いする。委員の皆様の確認が取れ次第、市ホームページへ公開する予定である。本会議の委員の任期は8/29（金）を以って、満了となる。次期委員の委嘱については、各委員に委嘱状を郵送等でお渡しする予定である。第3回地域公共交通会議は11/20（木）に自動運転実証実験の体験会を予定している。

-以上-

